

第6回 ゲノム・オミックス連携推進セミナー

人工知能の医療応用への取り組み ～現状と展望～

山本 陽一郎 先生

理化学研究所 革新知能統合研究センター
病事情報学ユニット ユニットリーダー

日時：11月16日（木）16:00～17:30

場所：東北メディカル・メガバンク棟 3階 大会議室

セミナー要旨

ビッグデータ時代を背景として、人工知能に関する研究があらゆる分野で活発に行われている。特にDeep Learningの一つである、畳み込みニューラルネットワークをはじめとする画像解析技術の発達はめざましく、現在の人工知能の特徴は、機械による「眼」の獲得、と言う研究者も存在するほどである。画像そして形態が含む情報量は非常に多く、囲碁のプロ棋士を倒したAlphaGoにおいても、碁の盤面そのものを画像として学習させる技術が含まれている。

政治的にも注目され、世界中で進められている人工知能研究であるが、人工知能も数ある道具の一つでしかない。この「道具」をどのように使いこなすかが、これからの医療従事者に求められているとも言える。本セミナーでは、先んじて人工知能の影響を受けた囲碁界と対比しつつ、医療人工知能をとりまく最近の動向と、実際の取り組みを紹介し、医療における人工知能の注意点と展望について話をさせていただきたい。

担当：田邊（東北メディカル・メガバンク機構 ゲノムプラットフォーム連携センター）
連絡先：contact@gpc.megabank.tohoku.ac.jp（芳賀）